

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年1月11日(2022.1.11)

【公開番号】特開2020-89504(P2020-89504A)

【公開日】令和2年6月11日(2020.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2020-023

【出願番号】特願2018-227613(P2018-227613)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年12月1日(2021.12.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の遊技媒体を用いて遊技を行うことが可能な遊技機であって、

遊技者が操作可能な操作手段と、

遊技の状況に応じて演出を実行可能な演出手段と、

演出の実行を制御可能な制御手段と、を備え、

前記演出手段には、前記操作手段の操作に基づいて所定の操作対応演出を実行可能な特定演出手段が含まれており、

前記特定演出手段は、前記操作手段の1回の操作につき前記操作対応演出を1回実行することが可能とされており、

前記制御手段は、前記操作手段の操作に基づいて前記操作対応演出を実行する場合、該操作に基づく前記操作対応演出の実行開始から所定の無効時間が経過するまでの間、前記操作手段の次の操作に基づく前記操作対応演出の実行開始を無効化する無効化処理を実行可能である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記無効時間は、1回の前記操作対応演出の実行時間よりも短く、かつ、前記実行時間の1/2以上の時間である

ことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前述の課題を解決するために、本発明は以下の構成を採用した。

すなわち、手段1の遊技機は、

所定の遊技媒体を用いて遊技を行うことが可能な遊技機であって、

遊技者が操作可能な操作手段と、

遊技の状況に応じて演出を実行可能な演出手段と、

演出の実行を制御可能な制御手段と、を備え、

前記演出手段には、前記操作手段の操作に基づいて所定の操作対応演出を実行可能な特定演出手段が含まれており、

前記特定演出手段は、前記操作手段の1回の操作につき前記操作対応演出を1回実行することが可能とされており、

前記制御手段は、前記操作手段の操作に基づいて前記操作対応演出を実行する場合、該操作に基づく前記操作対応演出の実行開始から所定の無効時間が経過するまでの間、前記操作手段の次の操作に基づく前記操作対応演出の実行開始を無効化する無効化処理を実行可能である

ことを要旨とする。

また、手段2の遊技機は、手段1の遊技機において、

前記無効時間は、1回の前記操作対応演出の実行時間よりも短く、かつ、前記実行時間の1/2以上の時間である

ことを要旨とする。